



銀メダルを獲得した馬場俊輔選手(右)

W杯男子フルーレ団体で 銀メダル獲得

フェンシング部
馬場俊輔選手(法4)

五輪後、卒業生も活躍続く

フランス・パリで2025年1月12日に開催されたフェンシングのワールドカップ(W杯)男子フルーレ団体で、フェンシング部の馬場俊輔選手(法4)が代表入りした日本が銀メダルを獲得した。日本フェンシング協会によると、日本は準々決勝でハンガリーを45－40、準決勝でアメリカを45－39で退け、決勝ではイタリアに44－45と惜敗したが、2023年の銅メダル、2024年の銀メダルに続き、3大会連続のメダル獲得となった。

フェンシング部の卒業生では、古俣聖選手(2020年法学部卒)が2025年2月のW杯男子エペ団体で金メダ



メダルを手に笑顔をみせる馬場俊輔選手(右から2人目)

ルを獲得。女子サーブルの江村美咲選手(2021年法学部卒)が2025年1月のグランプリ大会で金メダル、同月のW杯団体で金メダルを獲得した。

女子フルーレの上野優佳選手(2024年法学部卒)も2024年11月のW杯団体で金メダル、同年12月と2025年1月のW杯個人でいずれも銅メダルを獲得。パリ五輪後も卒業生を含めて快挙が続いている。

(写真は2点とも公益社団法人日本フェンシング協会提供)